

わかやま母親通信

第81号 2020年3月21日発行

発行 和歌山県母親大会連絡会 事務局 和歌山市小松原通3の20 和歌山県教育会館内
和教組 TEL073-423-2261 FAX073-436-3243 母連メール:w_haharen@wkn.or.jp

生命を生みだす母親は
生命を育て
生命を守ることをのぞみます

第65回 in 有田川町 鳥屋城小学校 金屋文化保健センター HP 和歌山県母親大会

県母親大会へ参加しよう ちらし・ポスターができました

今年の大会ちらし・ポスターができ上がりました。HP「**和歌山県母親大会**」[公式ページ]も、第65回大会版に更新しています。広く宣伝や参加のお誘いにお使い下さい。直接ちらしを手渡せない方には、「HPを見てね。」と言って、お誘い下さい。

HPのTOPには、ちらし(表裏)を載せています。わかやま母親通信には、大会の情報等を載せています。その他、母親大会(運動)の歴史等も良かったらご覧下さい。

4月中旬までには、第2/6/12/13/16分科会の事前申込用紙、保育申込用紙も載せて、ダウンロードできるようにしておきます。

多くのご後援・ご支援に感謝します

ちらし・ポスターの下部を見て下さい。母親大会を後援していただく団体名を載せています。和歌山県を始め、有田川町・有田郡市内の自治体及び教育委員会から後援をいただいています。さらに、県内マスコミ、全国紙である朝日新聞、毎日新聞、読売新聞の各支局、NHK和歌山放送局からも後援をいただきました。母親大会が「市民権」を得ていることに確信を持つと同時に、それを力に、これまで以上に幅広い女性、母親、男性、若い世代に、参加を呼びかけましょう。

「集まりましょう。

願いや想いを語り合いましょう。

しっかり学び合いましょう。

そして、平和な未来、くらしを守るため、

「一緒に行動しましょう」…と。

ストップ!カジノ 和歌山 決起集会

2月29日(土)、南コミセンで開催。新型コロナウイルスへの対策を心がけて取り組み、175名参加。歌声オールスターズの「カジノはイヤだ!!」の創作歌、鳥畑与一氏(静岡大学)の綿密なお話、現役ママや中学生からの発言等、熱い決起集会となりました。

2020年3.8国際女性デー 各地の取組み

2020年 中央大会
メインスローガン

* 改憲NO! 核兵器NO! いのち・くらし最優先に!
* 世界の女性と手をつなぎ、ジェンダー平等へ

国際女性デーとは(和歌山市実行委員会のちらしより引用)

1904年3月8日にアメリカ・ニューヨークで、女性労働者が婦人参政権を要求してデモを起こしました。これを受け、1910年にデンマーク・コペンハーゲンで行われた国際社会主義者会議において、政治上、経済上、社会上の男女平等を達成するため、記念の日とするよう提唱したことから始まりました。

国連は1975年(国際婦人年)の3月8日以来、この日を「国際女性デー」と定め、現在は国連事務総長が女性の十全かつ平等な社会参加の環境を整備するよう、加盟国に対し呼びかける日となっています。

世界中で、#Me Too運動が行われ、ジェンダー平等社会を求める声が高まっています。そんな中で、世界経済フォーラム発表によるジェンダー平等度110位(一昨年。昨年は121位)の「ジェンダー平等後進国」日本では、性暴力事件の裁判で無罪判決が相次ぎました。そして、そのことに抗議の声を上げて始まったフラワーデモが47都道府県に広がりを見せた1年でもありました。

2020年3月8日、国連総長は「21世紀を男女平等の世紀に」と本気の取り組みを呼びかけました。こうした世界的な流れ、国内の新たな運動の高まりもあってか、和歌山市各所の取組みに一般のマスコミも取材に来ました。和歌山市では、新型肺炎感染防止に必要な手だてを心掛け、開催しました。

和歌山市各所

*3月7日(土)10:00~12:00 於 ; 和歌山市勤労者総合センター 主催 ; 和歌山市実行委員会 『誰もが輝く未来を生きるために』 講師; S. N. さん(和歌山県母連) 講演では、まず様々なデータに現れる日本の男女不平等の現状が示されました。もともと明治憲法下で強固に確立された男女差別制度があり、戦後は日本国憲法に励まされ、「女性の地位向上、働き続ける権利拡大」を求めて、女性たちは闘い続けてきたことが明らかにされました。にもかかわらず、「ジェンダー平等後進国」日本の実態は、根強い社会通念や慣習、男女役割分担意識が残され、それを意識的に温存し利用しようとする経済界や反動的な政治の下で、世界水準に大きく後れを取っているということです。そして、「世界的に『多様性を認め合う共生社会(ジェンダー平等)』の実現へ気運が高まる中で、『誰もが輝く未来を生きる』ために、国内の要求運動を広げていく大切さ」が話され、感想や意見交流をしました。

*3月8日(日)12:10～ 於；和歌山城公園前交差点

『WOMEN' S MARCH & FLOWER DEMO』が開催され、学生を含む23名がスタンディングしました。「女らしくじゃなく私らしく」などのプラカードを掲げ、性暴力や性差別を許さないと訴えました。

*3月8日(日)14:00～ 於；JR和歌山駅前

『第3回フラワーデモ in 和歌山』が開催され、30数名が参加しました。手に手に一輪の花や訴えのプラカードを持ち、道行く人に「性暴力の根絶」とそれに関わる「刑法の一部改正」をサイレントアピールしました。

和歌山市以外の各郡市では、残念ながら取り組み中止を余儀なくされた地域が多かったのですが、毎年、班ごとに国際女性デーを開催してきている日高支部では、いくつかの班で、規模を小さくしたり職場単位にしたりと工夫しながら開催しました。日高支部では、この時期に、茶話会をしながら学習し親睦とつながりを深めることが、貴重な取り組みになっています。

また、少し早い目の時期に取り組んだ次の2地域では、元気に取り組みました。

みなべ町

今年は、K.M.さんとお仲間をお迎えして、ラフターヨガを(笑いヨガ)を催しました。男性2名を含む44名と子ども3名が参加しました。30代から70代は同じような人数で、80代1名。先生には、「若い方が多いね」と喜んでいただきました。

まず、ラジオ体操で体を温め、音楽に合わせて健康体操です。①目と目を合わせ、握手 ②電気ビリビリ ③たこやきを食べる の3つの設定のエクササイズです。

笑いと深呼吸を組み合わせて、参加者が次々にパートナーを変えて楽しむエクササイズで、楽しくて大笑いでした。面白くて、ストレス解消になり、会場は大盛り上がり。

水分補給、休憩。その後、座って脳トレエクササイズや家事作業を想定したものなど、笑って、笑って、身体がほぐれました。

楽しいひと時の後、しっかりクールダウンもして、いいひと時を過ごしました。

海南・海草

1月25日(土)の午後、教組のリフレッシュパーティに合わせて、学習会を取り組みました。今年は、Y弁護士をお呼びして、「マリーナシティのカジノ・IR誘致問題」についてお話を伺いました。

海南市はその玄関口になり、子どもの育ちや暮らしへの悪影響は、はかり知れません。参加者は、真剣に耳を傾けました。

分科会の魅力を紹介します①

今年は16分科会を企画しています。その内の県実行委員会企画の7分科会と内容をご紹介します。(現地企画の9分科会は、次号に紹介します。どうぞ、お楽しみに。)

<p>第11分科会 沖縄のことを知ろう語ろう-DVD『米軍が最も恐れた男 その名はカメジロー』を視聴 TBSキャスターの佐古忠彦氏が、綿密に調査し自ら監督したドキュメンタリー映画です。沖縄県民の苦難を先頭に立って背負い、占領下で米軍に立ち向かって闘い抜いた瀬長亀次郎氏の生涯をたどれば、沖縄の戦後史が見えてくる。学び合いましょう。</p>	
<p>第6分科会 自分らしく生きるために -不登校・ひきこもり-</p> <p>当事者、家族、支援者、教職員それぞれの思いや悩みを出し合ってください。言葉にすることで分かり合えること、支援や対応のヒントが得られることもあるでしょう。他の参加者や助言者から、適切なアドバイスもいただけたと思います。</p>	<p>第8分科会 女性と人権-ジェンダー平等? 初めて設けた分科会。今年の国際女性デーは、新型肺炎問題の最中、MeToo運動やフラワーデモが盛り上がる中で、多彩な取り組みが展開されました。日本はジェンダー平等度121位(153国中)の人権後進国、性暴力被害を裁判に訴えても無罪になる国。なぜ?どうしたら?...考え合いましょう。</p>
<p>第7分科会 語り合おう!障害者の生活 国・自治体の役割</p> <p>障がいを持たれている方、家族や支援者、関連施設で働いている方、それぞれの思いや悩みを出し合ってください。他の参加者や助言者が、共に考え、適切なアドバイスをして下さいます。また、共同作業所運動についても語り合いましょう。</p>	<p>第10分科会 憲法9条は、核兵器よりも強い!?-DVD 元米海兵隊員が語る戦争と平和</p> <p>元米海兵隊員として、沖縄でも訓練を受け、米軍の他国侵略の先鋭として戦場に従軍してきた本人の告白とアニメ映像で構成されています。加害者としての地獄の苦しみから立ち直り、戦争の罪深さと9条の大切さを私たちに伝えてくれています。</p>
<p>第14分科会 特別講座 日本の「食」と「農」をめぐる-安全な食・農業の未来-</p> <p>私たちの健康と生命を支える「食」とそれを生み出す「日本の農業」をめぐる、危機的状況が進行しています。外国産の食材の大量輸入、遺伝子組み換え食品の流通、日本の種子を守る種子法の廃止…。現状とどう対抗するかを、お話していただきます。</p>	
<p>第15分科会 特別講座 ストップ!地球温暖化 原発ゼロへ 市民・地域主導で再生可能エネルギー社会をめざそう 気候変動の問題から原発をめぐる状況まで言及し、住民犠牲の儲け優先のエネルギー開発ではない、住民本位の再生可能エネルギー社会の方向性を、すでに取り組んできた実践事例を挙げてお話していただきます。</p>	

第66回日本母親大会 in 沖縄 18か所の見学及び特別企画を決定

2020年11月28日(全体会)~29日(分科会)に、沖縄県(本島)で開催されます。28日(土)の全体会は、沖縄コンベンションセンター会議棟で開催されます。

「核も基地もない平和な未来を子どもたちに」仲山忠克氏(弁護士 沖縄革新懇代表世話人) 29日(日)は、13の見学分科会と5の特別企画の中から、事前に1か所選り参加します。

詳しくは、各郡市母連事務局へ問い合わせ、申し込みをお願いします。